



でデータを可視化



GIS(地理情報システム)とは…

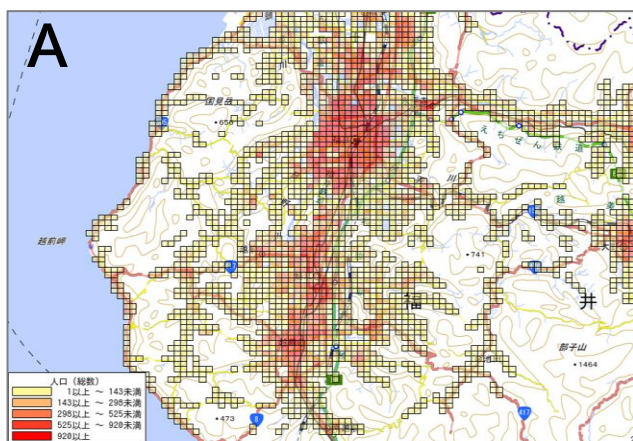
地理空間情報の地理的な把握又は分析を可能とするため、電磁的方式により記録された地理空間情報を電子計算機を使用して電子地図上で一体的に処理する情報システム
(地理空間情報活用推進基本法 第二条)

と、**難しい感じ** がしますが…

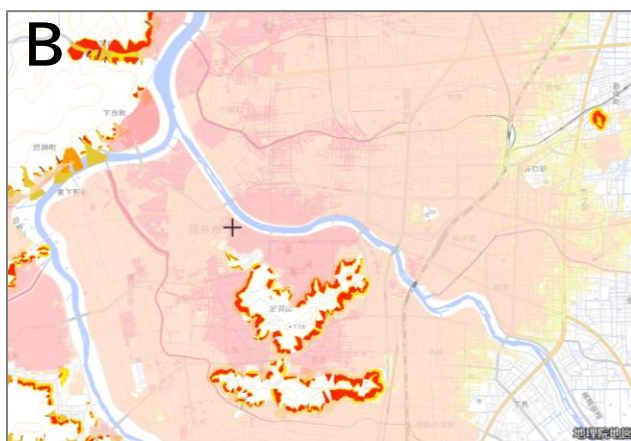
ざっくり!

地図上で複数の情報を一体的に表現できるシステム

です。



図A…総人口データ(R2年国勢調査)をメッシュ化して地図上に表示



図B…「洪水浸水想定区域(計画規模)」と「土砂災害警戒区域等」を重ねて地図上に表示

これらのデータの可視化作業、実はとても簡単に行えます。

～上記の作成に使用した2つのGISソフトを簡単にご紹介～

1 jSTAT MAP

- 総務省統計局が運営
- 国勢調査等の政府統計のデータを選択して、地図上に表示できる。

人口や住民属性データを可視化できるので、**地域の特性分析や政策立案の基礎資料の作成におすすめ!!**

2 地理院地図

- 国土地理院が運営
- 土地の成り立ちや地形など、日本の国土に関するデータを表示できる。

自然災害のリスク判定や避難計画策定など、**防災分野での活用がおすすめ!!**



GISを使ってみよう

jSTAT MAPも地理院地図もインストールの必要がなく、無料で誰でも簡単に利用できます。また、位置情報データをインポートすることで多様な分析が可能です。今回はjSTAT MAPを使用した可視化事例をご紹介します。



あの店はなぜ移転したのだろう

ある日突然、同じ通り沿いの約1km北に移転したコンビニ。
なぜこのような場所に移転することになったのだろうか。
このコンビニを取り巻く環境を可視化して考えてみよう。

右図は、コンビニ各社の位置情報とコンビニの一般的な商圏である半径350mのエリアを可視化し、国勢調査の人口データを重ねたものである。
この移転によりコンビニAは、①競合他社の商圏から外れ
②人口密集地域の③コンビニ空白地帯への進出を狙ったのではないだろうか。

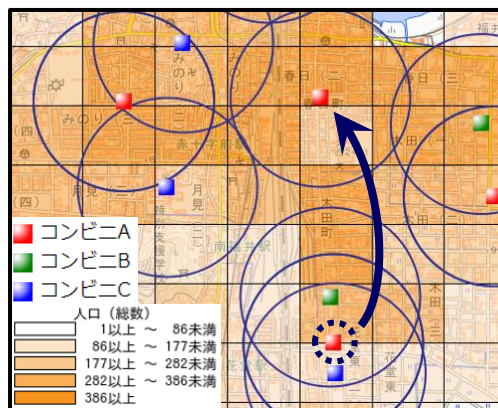


図 福井市木田・豊地区周辺の状況



地図にデータを重ねてみる

≫≫ AEDの設置状況に人口データを重ねて可視化にトライ 👁👁

【準備するもの】 jSTAT MAP、AED設置場所リスト(CSVファイル)

①位置データを表示する

AED設置場所リストをjSTAT MAPに取り込む。

ファイル → インポート → 住所マッピング

②距離データを重ねる

「AEDの設置が推奨されるのは片道1分以内に
取りに行ける距離」※1

エリア作成機能 を使って、①でマッピング
された設置場所を中心とした半径150mの
エリアを赤枠で表示

③人口データを重ねる

「令和4年に心肺停止で搬送された人のうち、
約86%が60歳以上」※2

国勢調査の結果から最も条件に近い65歳以上
の人口データを重ねる。

統計地図作成 → 統計グラフ作成 → 国勢調査

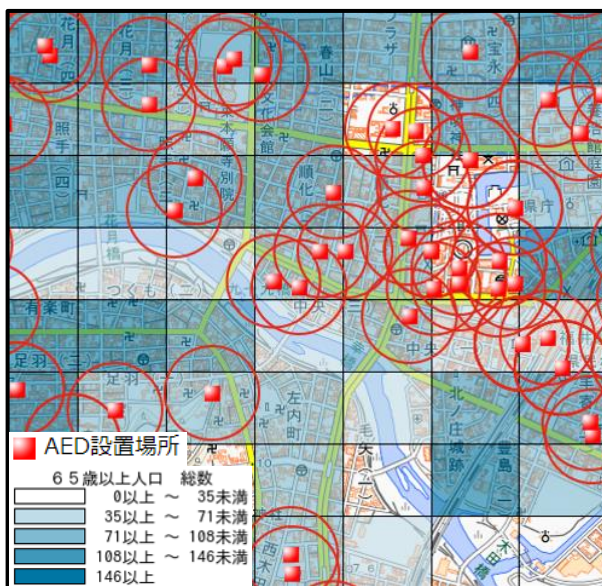


図 県庁周辺の状況

※1 AEDの適正配置に関するガイドライン(厚生労働省) ※2 救急救助の現況(総務省消防庁)
出典 福井県医師会ホームページ(<https://www.fukui.med.or.jp/fukui/other/aed/fukui/>)

電子地図



位置データ



統計データ



いかがだったでしょうか。GISは県でも既に様々な分野で活用されています。表やグラフだけでは見えてこない地域との関係性を可視化し、データ分析や政策立案に役立ててみませんか。

